平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　高島株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8007　URL　http://www.tak.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高島　幸一
問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー　(氏名) 平川　知志　TEL 03-3567-0755

四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,196	1.4	531	46.8	474	54.5	224	29.6
23年3月期第2四半期	36,670	13.1	362	362.3	306	350.9	173	38.1

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　156百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△97百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.96	―
23年3月期第2四半期	3.82	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	33,724	7,874	23.3
23年3月期	32,391	7,810	24.1

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　7,874百万円　23年3月期　7,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	2.00	2.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	0.7	1,000	51.0	950	44.1	450	15.4	9.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	45,645,733 株	23年3月期	45,645,733 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	394,186 株	23年3月期	384,187 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	45,256,823 株	23年3月期2Q	45,275,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信〔添付資料〕P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日)におけるわが国の経済環境は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱により第１四半期連結会計期間は急速に落ち込みましたが、当初の予想を上回るペースで供給体制の復旧が進み、当社との関連が最も深い建設関連市場などを中心に当第２四半期連結会計期間より回復基調にあります。しかしながら、全体経済は欧州の金融危機などにより円高基調が続くとともに、新興国経済の減速も懸念され、輸出関連産業を中心に暗雲が立ち込めています。

このような環境の下、当社の太陽エネルギー関連分野は再生可能エネルギーに対する関心の高まりなどにより需要が増加いたしましたが、第１四半期連結会計期間のサプライチェーンの混乱による建築物件の着工遅れ等の影響もあり、建材事業全体では売上は微減となりました。産業資材事業では、産業用繊維資材などの復旧関連の需要増と、震災後、特に高まった省エネにつながる商材、電子部品の需要拡大により、売上が増加いたしました。その結果、当社グループ全体として売上が増加いたしました。

このような結果、当社グループの当期における売上高は37,196百万円（前年同四半期比1.4％増）、営業利益は531百万円（前年同四半期比46.8％増）、経常利益は474百万円（前年同四半期比54.5％増）、四半期純利益は224百万円（前年同四半期比29.6％増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建材

当セグメント売上の３割以上を占める太陽エネルギー関連分野では、再生可能エネルギーに対する関心の高まりから需要が拡大し、売上は増加いたしました。一方、断熱材関連分野・土木関連分野においては震災後のサプライチェーン混乱の影響を受けて、商品供給難とその間の受注活動の停滞により、売上が減少いたしました。しかしながら、売上原価の低減や、震災後の取引先復旧による与信費用の低減等でセグメント利益は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は23,435百万円（前年同四半期比3.3％減）、セグメント利益は212百万円（前年同四半期比49.9％増）となりました。

②産業資材

東日本大震災後のテント・シートなどの復旧需要関連分野と、遮熱性繊維資材や省エネ照明などの環境性重視関連分野の売上が増加いたしました。また、電子部品関連分野も海外での需要が増加し、売上が増加いたしました。一方、自動車や家電向けの樹脂製品関連分野と車輌部材関連分野はサプライチェーンの混乱等を原因とした生産減少、納品延期、円高により、海外向売上が減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は13,649百万円（前年同四半期比10.8％増）、セグメント利益は281百万円（前年同四半期比50.0％増）となりました。

③賃貸不動産

中京地区における賃貸不動産需要の低迷により、売上が減少いたしました。当セグメントの売上高は111百万円（前年同四半期比7.2％減）、セグメント利益は38百万円（前年同四半期比22.0％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末は、流動資産は25,927百万円（前連結会計年度末比6.1％増）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が売上の増加により707百万円、手形売却の増加により債権売却未収入金が938百万円、商品が太陽光パネルの調達により340百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は7,796百万円（前連結会計年度末比2.0％減）となりました。主な要因は、投資有価証券の時価下落等により136百万円減少したことによるものであります。

流動負債は20,974百万円（前連結会計年度末比10.3％増）となりました。主な要因は、売上増加に伴う仕入増加で支払手形及び買掛金が1,187百万円増加したことによるものであります。

固定負債は4,875百万円（前連結会計年度末比12.5％減）となりました。主な要因は、償還により社債が50百万円、長短振替と返済により長期借入金が570百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は7,874百万円（前連結会計年度末比0.8％増）となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が時価下落により48百万円減少し、一方で利益剰余金が、四半期純利益の計上により224百万円増加、配当金の支払により90百万円減少したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,610百万円となり、前連結会計年度末と比べ330百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の営業活動における資金の減少は、157百万円（前年同四半期は443百万円の減少）となりました。主な要因は、売上増加による売上債権の増加と、手形売却による債権売却未収入金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の投資活動における資金の減少は、229百万円（前年同四半期は103百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産と無形固定資産の支払いがあったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の財務活動における資金の増加は、64百万円（前年同四半期は53百万円の増加）となりました。主な要因は、短期及び長期借入金の借入れと配当金の支払いによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期通期の業績予想につきましては、平成23年５月12日に公表した当初予想を修正しております。詳細は、平成23年11月８日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,940	2,610
受取手形及び売掛金	17,484	18,192
商品	2,444	2,784
未成工事支出金	461	342
その他	1,230	2,133
貸倒引当金	△121	△135
流動資産合計	24,439	25,927
固定資産		
有形固定資産	3,596	3,610
無形固定資産	133	185
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505	2,373
その他	1,945	1,785
貸倒引当金	△229	△158
投資その他の資産合計	4,222	4,001
固定資産合計	7,952	7,796
資産合計	32,391	33,724

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,961	18,149
短期借入金	670	1,432
未払法人税等	147	131
賞与引当金	264	236
その他	964	1,024
流動負債合計	19,008	20,974
固定負債		
社債	350	300
長期借入金	2,655	2,085
退職給付引当金	594	543
その他	1,974	1,946
固定負債合計	5,573	4,875
負債合計	24,581	25,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	1,465	1,599
自己株式	△71	△74
株主資本合計	7,021	7,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	112
土地再評価差額金	783	783
為替換算調整勘定	△154	△173
その他の包括利益累計額合計	788	721
純資産合計	7,810	7,874
負債純資産合計	32,391	33,724

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	36,670	37,196
売上原価	33,430	33,811
売上総利益	3,240	3,385
販売費及び一般管理費	2,877	2,853
営業利益	362	531
営業外収益		
受取利息	24	22
受取配当金	34	39
持分法による投資利益	2	5
償却債権取立益	－	5
保険解約返戻金	22	－
その他	14	33
営業外収益合計	98	105
営業外費用		
支払利息	47	44
手形売却損	13	14
為替差損	71	96
その他	20	7
営業外費用合計	153	163
経常利益	306	474
特別利益		
貸倒引当金戻入額	52	－
特別利益合計	52	－
特別損失		
投資有価証券評価損	58	53
関係会社清算損	－	8
特別損失合計	58	62
税金等調整前四半期純利益	300	411
法人税、住民税及び事業税	76	129
法人税等調整額	51	58
法人税等合計	127	187
少数株主損益調整前四半期純利益	173	224
少数株主利益	－	－
四半期純利益	173	224

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	173	224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△236	△48
為替換算調整勘定	△33	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	7
その他の包括利益合計	△270	△67
四半期包括利益	△97	156
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	156
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	300	411
減価償却費	68	78
賞与引当金の増減額（△は減少）	19	△27
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△30	△50
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△136	△57
受取利息及び受取配当金	△59	△61
支払利息	47	44
投資有価証券評価損益（△は益）	58	53
関係会社清算損益（△は益）	－	8
売上債権の増減額（△は増加）	△2,168	△754
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,455	△240
仕入債務の増減額（△は減少）	2,508	1,219
未払消費税等の増減額（△は減少）	△41	15
その他	515	△672
小計	△373	△31
利息及び配当金の受取額	58	62
利息の支払額	△45	△44
法人税等の支払額	△83	△145
営業活動によるキャッシュ・フロー	△443	△157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20	－
有価証券の償還による収入	15	－
有形固定資産の取得による支出	△30	△123
有形固定資産の売却による収入	10	2
無形固定資産の取得による支出	△44	△115
投資有価証券の取得による支出	△89	△4
投資有価証券の売却による収入	2	－
貸付けによる支出	－	△8
貸付金の回収による収入	12	8
その他	－	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103	△229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△290	183
長期借入れによる収入	－	150
長期借入金の返済による支出	△70	△120
社債の発行による収入	500	－
社債の償還による支出	－	△50
配当金の支払額	△66	△89
その他	△19	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	53	64
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△502	△330
現金及び現金同等物の期首残高	4,027	2,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,524	2,610

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	24,227	12,322	120	36,670	－	36,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	4	4	△4	－
計	24,227	12,322	124	36,674	△4	36,670
セグメント利益	141	187	48	378	△15	362

（注）１．セグメント利益の調整額△15百万円はセグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	23,435	13,649	111	37,196	－	37,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	4	4	△4	－
計	23,435	13,649	115	37,200	△4	37,196
セグメント利益	212	281	38	531	－	531

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。